

採択事例 6

(平成22年度)

補助種別

木造化



プロジェクト名

地域密着型小規模特別養護老人ホーム 笠木メジロ苑建設工事

提案者(事業者)

社会福祉法人 笠木御所桜会 理事長 岡井功

設計者

株式会社スペースデザイン

施工者

株式会社北村組

建設地

三重県多気郡多気町笠木1329

竣工済につき
簡略版としています

竣工済

提案の
概要



A. プロジェクト全体の概要

- 既存小規模多機能型居宅介護施設の隣地へ建設する、地域密着型特別養護老人ホーム。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容

- 建物全体を木造化する。
- 居住部分は丸太組構法、ホール等共用部分は軸組構法とする。

C. 提案のアピールポイント

- 45分準耐火構造の丸太組構法を主体に建築する。丸太組壁に利用する部材は、地域の桧中目材を利用。
- 間伐材でも太い中目材の有効利用。



アプローチより見る全景。中央、大断面木材使用軸組構法の共用部に丸太組構法の3つの居住棟がつながる

評価の
ポイント



準耐火45分の丸太組構法建築物はこれまでに実例が少なく、特別養護老人ホームでは初めてのケース。特別養護老人ホームでは介護用機械等の配線が多く、処理に工夫が求められるが、壁内の空間確保が困難な丸太組構法を採用する点にチャレンジ性が見られ、丸太組構法の一般的な建築物への適用のモデルとなることが期待される。

このプロジェクトの
先端性・先進性

波及性・普及性

- 45分準耐火構造のログ材を使用した丸太組構法。
- 乾燥方式は高温蒸気式、高周波複合乾燥にすることにより、割れにくい、収縮しにくい。
- 木材本来の材質を重要視した木材加工技術。

- 多くの丸太を使用したやすく施設。
- 地域の先進的モデル。



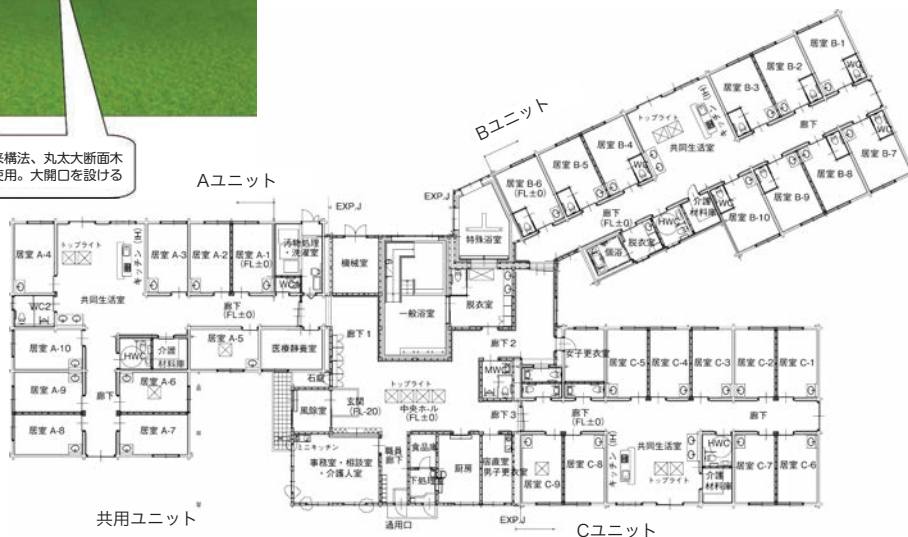
丸太組構法、45分準耐火構造とする

在来構法、丸太大断面木材使用。大開口を設ける

平面計画

建物は大きく4つの建物で構成されている。共用ユニットは軸組構法とし、A～Cの各ユニットは丸太組構法としている。

建物全体が準耐火建築物であるが、構造上、防火上は各ユニットが別々の建物になっており、エキスパンションジョイントでつないでいる。



プロジェクト
データ



提案者(事業者・建築主)、設計者・施工者、建設地は
扉頁参照

建物名称：地域密着型特別養護老人ホームときだの里

主要用途：特別養護老人ホーム

主要構造：■木造（ ■軸組構法 □枠組壁工法 ■丸太組構法 □その他 ） □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □その他
防火地域等の区分：□防火地域 □準防火地域 □法22条区域 ■その他の区域

耐火建築物等の要件：□耐火建築物 □準耐火建築物（60分耐火） ■準耐火建築物（45分耐火） □その他の建築物

敷地面積：5,550.52㎡ 建築面積：1,238.20㎡

延べ面積：1,159.58㎡ 軒 高：5.067m

最高の高さ：7.717m 階 数：地上1階

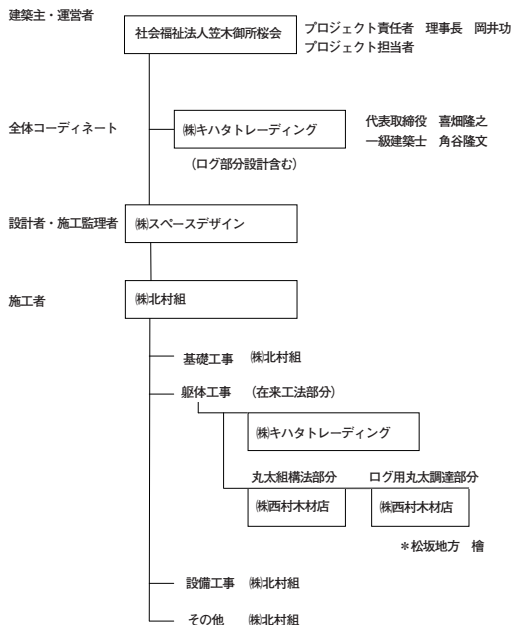
事業期間：平成22年度

補助対象事業費：287,812千円（うち補助対象部分の掛かり増し工事費：85,000千円）

補助金額：61,933千円



事業の実施体制



事業スケジュール

平成22年				平成23年			
9	10	11	12	1	2	3	4
実施設計				実施設計			
施工				施工			
竣工				竣工			



建物の要、共用ユニットのエントランスまわり



居住棟は丸太組構法でつくり、内部は重厚な木に包まれている



3つに分かれた居住棟はそれぞれ共同生活室を中央に個室を配置



中央ホールのトップライト



中央ホール



木のぬくもりを感じる個室